

## 各務原市本庁舎耐震化基本構想策定委員会 先進自治体視察報告

1. 日 程：平成26年10月8日（水曜日）10：00～14：30
2. 視 察 地：①【耐震補強】江南市役所（江南市赤童子町大堀90番地）  
②【新庁舎建設】小牧市役所（小牧市堀の内3丁目1番地）
3. 視察趣旨：先進自治体（耐震補強及び新庁舎建設）の視察を通じて、本庁舎の耐震化に関する検討の参考とする。
4. 視察自治体概要：

	愛知県江南市 （耐震補強）	愛知県小牧市 （新庁舎建設）
人 口 (H26.9.1 現在)	101,216 人	153,629 人
世帯数 (H26.9.1 現在)	39,344 世帯	64,300 世帯
面 積	30.17k m <sup>2</sup>	62.82k m <sup>2</sup>
庁 舎	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 西庁舎：昭和37年竣工、東庁舎：昭和50年竣工</li> <li>• 地上4階、地下1階</li> <li>• 西庁舎：鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造、東庁舎：鉄骨鉄筋コンクリート造</li> <li>• 延床面積 8,487 m<sup>2</sup></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 平成24年7月竣工</li> <li>• 地上6階、地下1階、塔屋1階</li> <li>• 鉄骨造、一部鉄筋コンクリート造（免震構造）</li> <li>• 延床面積 17,049 m<sup>2</sup></li> </ul>

## 江南市視察概要

1. 江南市副市長あいさつ
2. 各務原市本庁舎耐震化基本構想策定委員会副委員長あいさつ
3. 出席者自己紹介
4. 事業概要説明

### ① 施設の概要

#### 1) 西庁舎

RC造、一部S造 地上4階 地下1階

昭和37年竣工（52年経過）

延床面積 3,394.23㎡

#### 2) 東庁舎

SRC造 地上3階 地下1階

昭和49年竣工（40年経過）

延床面積 4,983.86㎡

#### 3) 防災センター

S造 地上3階

平成26年竣工

延床面積 1,893.20㎡

### ② 工事概要

#### 1) 西庁舎耐震補強工事

ピン接合鋼管ブレース工法+PCアウトフレーム工法+耐震壁（RC造）補強

#### 2) 改修工事

- ・西庁舎の便所改修
- ・駐輪場工事
- ・本庁舎外壁塗装改修
- ・西庁舎屋上の防水改修
- ・西庁舎3階 議場の内部改修
- ・西庁舎3階 正・副議長室の内部改修
- ・西庁舎2階 市長室、副市長室、秘書室の内部改修
- ・西庁舎中庭空間の有効利用
- ・東庁舎の便所改修
- ・東庁舎北玄関のバリアフリー対応
- ・舗装工事

#### 3) 工期

平成25年8月22日～平成27年6月17日

### ③ 事業費

耐震補強：462,126千円、改修：287,228千円

【合計】749,354千円

（財源：国庫補助金55,348千円、地方債430,000千円、一般財源264,006千円）

## 5. 現場視察



PCアウトフレーム施工箇所（西庁舎西面）



PCアウトフレーム、鉄骨ブレース施工箇所（西庁舎西面・南面）



鉄骨ブレース施工現場（西庁舎北面）



鉄骨ブレース施工現場（西庁舎中庭）  
中庭は3階まで吹抜けになっており、1階～3階までで11構面設置



鉄骨ブレース設置状況（西庁舎1階市民サービス課事務室内）



RC耐震壁（西庁舎1階電算室内）

## 6. 質疑応答

問：耐震補強の工法について、どのように決めましたか。

答：基本設計において、コスト等を提案してもらい採用しました。

問：PCアウトフレームのメーカーはどのように決めましたか。

答：採光を考慮して決めました。

問：PCアウトフレーム工法について柱と接合していますか。

答：柱とは接合しています。梁はボルトで接合し、コンクリートを流し込んでいます。

問：基礎は一体化していますか。

答：既存不適格にならないよう、増設ではない一体化としました。

問：東庁舎はI<sub>s</sub>値1.0を超えていますが、どういうことですか。

答：東庁舎建設（増築）時に、将来的な増築を想定して設計したと聞いています。

問：耐用年数とライフサイクルコストの視点で新築を検討しなかったのですか。

市民への行政サービスや耐用年数についてどのように考えていますか。

答：将来的には建替えを考えていかなければならないと考えています。新築が好ましいという議論もありましたが、鉄道高架事業や新ごみ処理場、市民体育館の整備等大型事業が控えていますので、並行して庁舎を新築することは財政的に困難で、災害時に避難所となる市民体育館を優先して建替えることと決めました。

## 小牧市視察概要

1. 各務原市企画総務部長あいさつ
2. 小牧市総務部総務課長あいさつ
3. 事業概要説明

### ① 施設の概要

- 1) 建築面積 3,649.14㎡
- 2) 延床面積 17,049.52㎡
- 3) 階数 地上6階、地下1階、塔屋1階
- 4) 構造 鉄骨造、一部鉄筋コンクリート造（免震構造）
- 5) 新庁舎の基本コンセプト

『人と環境にやさしい親しまれる庁舎』

- 6) 工期 平成22年7月2日～平成24年7月30日

### ② 建設経緯

平成8年度	旧本庁舎の耐震診断の実施 ※耐震性に問題ありと判定される
平成13年度～16年度	庁舎建設場所の検討
H14.3	市議会に庁舎建設検討委員会設置
H14.6	庁舎建設市民懇話会設置
H15.3	市議会に庁舎建設委員会設置（検討委員会から名称変更）
H16.3	建設基礎調査報告書
H16.9	市議会より「庁舎の位置」について報告
H16.11	新庁舎建設位置表明
平成17年度	庁内各検討委員会で検討開始
H18.7.3～8.1	新庁舎基本構想（案）パブリックコメントの実施
平成18年9月	新庁舎基本構想策定
平成20年3月	基本設計プロポーザル実施
平成20年度	基本設計
H21.4.20～5.19	新庁舎基本設計（案）パブリックコメントの実施
平成21年度	実施設計
平成22年7月	工事着工
平成24年7月	新庁舎竣工
平成25年度	旧本庁舎解体等工事設計
平成26年度	旧本庁舎解体等工事

### ③ 事業費

5,090,828千円

（財源：国庫補助金72,760千円、基金4,879,000千円、一般財源139,068千円）

#### 4. 庁舎視察



新庁舎は東庁舎（昭和63年竣工）と隣接している



低層階に集約された窓口



市民課の各種証明は、独立した専用の窓口で発行



十分なスペースが確保された市政情報コーナー



子育て担当部署の近くに設置されたキッズコーナー（授乳室が隣接）



各階に配置されたベビーベッド、オストメイト対応設備等がある多目的トイレ



設備の修繕、更新等がしやすい天井



展示等が可能な市民交流スペース



芝生が敷かれた2階屋上庭園



各階に設けられた打合せ等に便利なミーティングスペース



屋上に設置された太陽光発電パネル



免震構造（地下駐車場として利用）

## 5. 質疑応答

問：省エネルギーに関して、光熱費コストはどのように変わりましたか。

答：冬から夏まで1年を通してみて、新庁舎は電気・ガスを併用しており、ガス料金は例年通り、電気料金は旧庁舎に比べ高くなりました。重油の利用は非常時電源のみとなり、毎年買い替えの必要もないので、実質的に無くなりました。

電気料金の増加については、利用開始から1年程度と空調の操作に試行錯誤している段階であり、これから適正に運用していきたいと考えています。

また、庁舎の延床が旧庁舎に比べて1.6倍になっていることもあり、単純に比較することは難しいと考えています。

問：庁舎の整備は耐震が目的ではなく建替えが目的だったのですか。

答：元々二期工事を前提としていたため、昭和の時期から基金の積み立てをしていましたが、一時的に中止になりました。それから旧庁舎の老朽化が問題となり、新庁舎の建設を検討しました。

問：耐震補強の考えはなかったのですか。

答：最初から新築前提でした。駅前か東庁舎周辺敷地（現在の庁舎の位置）かで、建設位置が議論となりました。旧庁舎敷地は文化財に指定されているため建て替えができず、現庁舎の位置が駅前よりもコストが抑えられるという事もあり、現在位置へ新築することとなりました。

問：市民の反応はいかがでしたか。

答：庁舎であることから華美なものは避け、シンプルにすることと委員会から意見がありました。大きな批判等がなかった理由としては、事業費のほとんどを積み立てていた基金でまかなえたことがあると考えています。現在では労務単価の上昇等もあり、同じ金額でつくることはできないと思われます。

内覧会においても、きれいになって良かったという意見もあれば、少し大きすぎるのではという意見もありました。しかし、庁舎は50年使うと考えればどうしても業務量が増え、いずれ手狭になるのではないかと予想しています。

問：面積について、1階の窓口スペースが不足してきているのではないですか。実際の業務によって必要な執務面積が違っていることについてどう考えましたか。

答：市民窓口については特に重要視し、検討部会をつくり検討しました。ワンストップサービスの窓口も検討しましたが、職員の負担が大きく組織の編成の変更等が必要になるため、導入を断念しました。窓口部署を集約することで市民が移動する距離をなるべく少なくできるよう配置を工夫しています。

## 6. 各務原市本庁舎耐震化基本策定委員会副委員長あいさつ